

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	自然は村の宝物！ふるさと“やまがた”魅力発見プロジェクト事業～樹木編～
事業主体 (連絡先)	山形村 (東筑摩郡山形村 2030-1 ※担当：教育委員会)
事業区分	(3) 教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,179,404 円 (うち支援金：708,000 円)

### 事業内容

地域の大人と次代を担う子どもたちが協働して自然調査等を実施し、子どもたちの村の豊かな自然への興味・関心を深め、地域への愛着と誇りの気持ちを高める。また、県内高等教育機関である長野美術専門学校の協力を得て、クオリティの高い啓発物を作成し村の自然の魅力を村内外へと周知する。

- ・Yふるさとレンジャー隊の隊員を募集 \*6～7月
- ・村指定天然記念物(樹木)を調査 \*9月2回
  - 所有者等地域の方からの聞き取り調査
  - 幹回りや根回り等の計測
- ・村指定天然記念物標識、紹介パンフレットの製作
  - 長野美術専門学校によるデザインワークショップ \*10月2回

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①レンジャー隊員作成の“まとめシート”では、子どもたちのなかで村内の自然への目線が新たに広がったことが感じられた。来年度への継続参加希望も多くあり、興味・関心の高まりを実感している。
- ②所有者等地域の大人5名の方より各樹木についての由来等詳細についての聞き取り調査(情報伝達)ができた。
- ③支援金を活用して新たな標識を設置。さらに、これまで自然科学系文化財を発信する啓発ツールはなかったが、1件(パンフレット)製作することができた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業はプロジェクトの～樹木編～として実施し、次年度以降テーマを変えながら村内の自然について偏ることなく調査することを予定している。今後はYふるさとレンジャー隊の隊員数を増やししながら自然に興味・関心を持つ子どもたちの数を増やしていきたい。次年度についても長野美術専門学校との連携を確認済みである。

また、今回得られた天然記念物に対する情報や啓発ツール(パンフレット等)については、公民館講座等で利用しながら村内外への周知を図っていく予定となっている。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【 調査(計測)の様子 】

### 【目標・ねらい】

- ①子どもたちの村の自然への興味・関心の向上
- ②地域の大人から子どもたちへの情報の伝達
- ③情報発信ツールの増加

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて進行が遅れがでたものの、地域の協力を得て調査やワークショップを実施することができ、予定していた効果は得られたものとする。